

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/8～7/12

・7/8(月)

日韓関係、トランプ大統領とラピノー選手の確執、イランの濃縮ウラン、香港デモで5人逮捕、クロージグなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、日韓関係および番組構成については検証者の所感を記しました。

・7/9(火)

ハンセン病患者訴訟、参議院選挙、安倍総理のステルス作戦、対韓輸出規制などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、参議院選挙の取り上げ方については放送法の観点から高く評価できるものでした。

・7/10(水)

対韓国輸出規制、逃走の容疑者は元国会議員秘書、参議院選挙福井選挙区、ホルムズ海峡の有志連合、【異論反論】#日韓関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、参議院選挙福井選挙区については放送法の観点から高く評価できる一方で、逃走の容疑者は元国会議員秘書については印象操作の疑いのあるものでした。また、対韓国輸出規制については検証者の所感を記しました。

・7/11(木)

ホルムズ海峡情勢、眞子様ペルー訪問などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、ホルムズ海峡情勢については放送法の見地から問題のある場面が見られました。

・7/12(金)

ハンセン病家族訴訟、対韓輸出規制を巡る事務レベル会合開催、三ツ矢憲生衆院議員(自民、三重4)が女性候補者への応援演説で「一番の功績は子供をつくったこと」と発言、「シルバー民主主義」若者の声を届けるにはなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、三ツ矢憲生衆院議員(自民、三重4)が女性候補者への応援演説で「一番の功績は子供をつくったこと」と発言については放送法上問題のある場面が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月8日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：日韓関係、トランプ大統領とラピノー選手の確執、イランの濃縮ウラン 香港デモで5人逮捕、クロージング		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲邑初段(10)が最年少初勝利 ・ 日韓関係 ・ 所沢市同級生殺害事件 ・ 3年前の長男殺害事件の公判 ・ トランプ大統領とラピノー選手の確執 ・ イランの濃縮ウラン ・ 京都祇園で火災 ・ 冷蔵庫から娘の遺体父が自殺科 ・ 香港デモで5人逮捕 ・ 大麻所持で中学講師を逮捕 ・ スポーツ報道 ・ 【異論反論】 #海外留学 ・ 天気予報 ・ クロージング 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日韓関係：結論→放送法上は特に問題なし スタジオでの以下に朱記したやり取りを導入に、VTRで日韓関係についてが取り上げられていた。 <p>"小川彩佳「では続いてのニュースに参ります、事態は収束の見通しが全く立っていません。」</p> <p>山本恵里伽「日本が韓国に対し、半導体の材料の輸出規制を強化した問題、ムン・ジェイン大統領が今日、初めてこの問題に言及し、日本側に規制の撤回を求めました。韓国では日本製品の不買運動も広がりつつあります。」</p> <p>【VTR】</p> <p>"ナレ「ソウル市内にあるスーパー、店頭には横断幕が掲げられていました。」</p> <p>音声「過去の歴史を反省しない日本、日本産の製品は販売しません。」</p> <p>今林隆史（報告）「こちらの店では、日本製品は販売していないと掲げていて、実際味噌やかつを節を取り扱っていたこちらの棚、カラになっています。」</p> <p>ナレ「飲み物の冷蔵庫では」</p> <p>スーパーの社長「ここにはアサヒの缶ビールがありました、今は撤収して販売を中断しております。」</p> <p>ナレ「店の片隅には日本でもおなじみの商品がかごに山積みになっていま m した、この店には日本製品の販売をやめることで不買運動に参加しています。」</p>		

スーパーの社長「売上が減っても今回ばかりは我々がやられるのではなく、行動で示したい。」

ナレ「買い物客は。」

インタビュアー「日本産製品を買わずに不便では？」

買い物客 A「ガマンしないと！ ガマンしないとね。日本が報復するからみんな一緒に頑張らないといけないと思います。」

買い物客 B「こうした不買運動を通じて消費者がどんな考えを持っているのか、日本側にも直接的にも間接的にも伝えられるから正直悪いことだとは思いません。」

ナレ「冷静な対応を取るスーパーもあるものの今週中には韓国の中小スーパーの四割にも当たるおよそ 4000 店舗が不買運動に参加する見通しです。」

ホン・チュンホ（韓国マート協会理事）「我々は日本の国民を嫌っているわけではありません。日本政府がやっていることに抗議しているのです。」

ナレ「キッ変え k は今月 4 日から発動された日本政府による韓国への輸出規制の強化です、この措置によって韓国企業は半導体やスマートフォンの製造に欠かせない 3 品目を輸入しにくくなったのです。韓国は半導体やスマホの世界シェアが高く深刻なダメージが懸念されています。」

"ナレ「日本政府は規制強化の理由として、韓国側に輸出の管理を巡って不適切な事案があったとしています。」

安倍総理「安全保障上のための貿易管理をそれぞれの国が果たしていかなければならない。約束を守らないという中においては今までの優遇措置は取れない。」

ナレ「また、安倍総理は徴用工問題で韓国と信頼関係が崩れたとも指摘していて」

"ナレ「日本による対抗措置と受け止める韓国は強く反発しています。」

韓国 YTN テレビ「徴用工の賠償判決に反発して日本は韓国企業に牽制措置をはじめました。悪化した日韓関係のせいではないとしていますますが信じる人は少ないでしょう。」

ナレ「日本大使館の前では」

デモ隊「日本製品を売らないぞ、売らないぞ。」

ナレ「一部の自営業者が集まりに本製品を買わないよう呼びかけました。」

"ナレ「こうした中、韓国のムン・ジェイン大統領が今日、この問題について初めて言及しました。」

ムン・ジェイン大統領「韓国企業に実害があれば政府としても必要な対応を取らざるを得ない。そうなることは望まない。日本がいつも主張してきた自由貿易の原則に戻るよう願います。」

ナレ「日本側に規制強化の撤回を求めると共に協議に応じるよう呼びかけたムン大統領」

"ナレ「日本の経済界からも懸念の声が上がります。」

久保田政一（経団連事務総長）「我々もですね、非常に深く憂慮しております、この問題については国際法に則って関係の改善が図られるように、特に韓国政府に期待したいと。」

VTR を受けて以下に朱記したやり取りがスタジオで繰り広げられた。

"小川彩佳「この件に関して JNN が週末に行った世論調査なんですけれどもこちら、韓国に輸出規制を強化することについて妥当と思うとしたのが 58%、一方妥当と思わないのが 24%これ大幅に上回っているんですね、ただこのまままっ日韓関係がこじれ続けるというのは星さん、双方にとってもよくないことですよ。」

星浩「そうですね。まっこの問題、冷静に考える必要があると思うんで、まずその徴用工の問題は日本がその協

定に基づいて仲裁をしましょうという話をしているので韓国がこれちょっと梨の礫なのはちょっと困るので韓国側にきちんと対応してもらいたいと言うのは一つありますよね、で今回日本は新しく優遇措置をやめて貿易措置を強めるわけですけれども、これ新しくやるわけですから、昔やっていたんですけれどもこれもういっぺん戻すわけですけれども、その場合は基本的にじっくりと丁寧な説明をしてもらわないと、なんでやるんだろう、とみんな驚きますから、それは必要だと思いますね。」

小川彩佳「日本政府としては韓国側に輸出の管理を巡って不適切な事案があったという説明ですが、もう少し具体的なところでということですよ。」

星浩「そうですね。」

小川彩佳「一方、韓国側は WTO への提訴も辞さない、という構えだ。」

星浩「まああの、優遇措置をやめるって対抗するわけですからそれ自体はおそらく WTO に違反するということにはならないと思うんですが、今回、どうしても日本側も徴用工の問題と絡めて話が進むものですから、ちょっとわかりにくくなるというのが言ってんですよ。それから時期についても参議院選挙に向けてなんかナショナリズムを煽っているんじゃないかっていう疑念が韓国側からも出ているわけで、まあそういうこともあるのでねこの辺はもう少しお互いに中長期的に冷静に話し合う場をもうけていく必要があると思いますね」

このトピックに当てられた時間は 413 秒で、今回は主に韓国での動きを伝えるものであった。
放送法上の問題は特に見られなかった。

・トランプ大統領とラピノー選手の確執：結論→特に問題なし

トランプ大統領とラピノー選手の確執および報酬をめぐる男子選手と女子選手の格差問題について以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

ナレ「フランスで開催されたサッカー女子、ワールドカップ、7 日行われた決勝戦で、アメリカがオランダを 2 対 0 で破り大会に連覇、四度目の優勝を果たしました。決勝で先制ゴールを決め大会 MVP にも選ばれたラピノー選手。今、彼女の発言が波紋を広げています。」

ラピノー選手「ホワイトハウスに行くつもりはない、招待されることもないと思う」

ナレ「アメリカでは大きなスポーツ大会の優勝チームはホワイトハウスに招待され、大統領から祝福されるのが恒例となっています。しかし、ここ最近ではトランプ大統領への反発からホワイト端数を訪問しない選手たちが続出しているのです、トランプ大統領はホワイトハウスに行かないと宣言したラピノー選手に対して決勝前。」

トランプ大統領 (Twitter) 「勝ってからいべきだ、私はチームが勝っても負けても招待するからな。」

ナレ「そして、アメリカが優勝したことを聞くと、トランプ大統領は祝福しつつホワイトハウスへの招待についてこう話しました。」

トランプ大統領「まだ考えていない、検討する。」

ナレ「自身が同性愛者だと公表している他、黒人差別への抗議を示すなど物言うアスリートとしても知られているラピノー選手。そのラピノー選手がもう 1 つ訴えているのが。」

"ラピノー選手「MoneyMoneyMoney、全くフェアじゃない。」

ナレ「報酬を巡る男子選手と女子選手の格差問題です。女子サッカーはワールドカップ大会のたびに投資する価値がある競技だと証明してきた。」 "

"ナレ「なでしこジャパンの活躍にも見られるように大会を経るごとに盛り上がりを見せているサッカー女子、ワールドカップ、しかし FIFA から贈られる賞金総額を比べると現在男子の 4 億ドルに対し女子は 3000 万ドルから 6000 万ドルに引き上げが検討されているもの男子の 6 分の 1 以下と大きな格差があります、女子選手たちが声を上げた報酬を巡る男女格差、決勝終了後には。」

観衆「平等な報酬を、平等な報酬を」

ナレ「会場に湧き上がった平等な報酬をとの声。」

アメリカチームのサポーターA「間違いなくお手本にしたい人。髪を見てもらえればわかるけど彼女の真似をしようとしてるの。」

アメリカチームのサポーターB「アメリカ代表としてふさわしい人だと思うこれで女子選手たちの報酬アップが必要になる。次に必要なのは男女平等報酬だ。」

ナレ「アメリカのスポーツ界から浮かび上がった男女の報酬格差問題、今後大きな議論となるかもしれません。」

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「アメリカではこのところハリウッドですとか、テレビで出演者が男女の格差や性差別に異議を唱えるような動きが相次いでいましたけれども、このラビノー選手と、アメリカ代表の確かな実力で今度はスポーツ界に広がっていくのかなという印象がありましたね。」

星浩「そうですね、まあアメリカ、しかし強かったですね。そういう流れがね、今回トランプ大統領に向いているんだと思います、ただそれからその女子サッカーが盛んなところはね、アメリカの東海岸とか西海岸、どっちかって言うとそのリベラルであんまりトランプさんと相性が良くない地域でもあってですね、そういう事情もあるのかなって気もしますけれども。やっぱり今回の問題もね、アメリカの分断というところのね一端を映し出しているという感じはしますよね。」

小川彩佳「改めて浮き彫りにすることでしたね。」 "

このトピックに当てられた時間は 297 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イランの濃縮ウラン：結論→特に問題なし

イラン原子力庁の報道官は 8 日に精製を進めるウランの濃縮度核合意で定められた 3.67%を超えたと発表したとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 111 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港デモで 5 人逮捕：結論→特に問題なし

逃亡犯条例の改正案を巡る抗議が続く香港で 7 日に行われたデモ終了後に若者らおよそ 1000 人が幹線道路を占拠したこと、警察は深夜に強制排除に乗り出し 5 人を逮捕し道路を占拠した違法行為を強く避難するとしているとのことが報じられた。

このトピックに当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・クロージング：結論→特に問題なし

番組のクロージングで以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「さあ、選挙戦始まって初の週末、取材に言ってきましたけれど、候補者の周りやはり人が集まって

NEWS23 週刊報告 詳細版

くるのはやはり社会保障の話を多くの方訴えているときが多かったですね。」

星浩「政治家がよく言うのはね、火事は最初の五分間、選挙は最後の五分間って言いましてね、最後まで目が離せない、これから 21 日の投票日までギリギリの攻防が続きますよね。」

小川彩佳「2 週間、わからないということですよ。」 "

このシーンに当てられた時間は 25 秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 日韓関係

韓国では小売業者から消費者までが日本製品への不買運動を展開していたが、韓国にはそうしたナショナリズムが草の根レベルでも機能しているということに驚きを感じた。

日本では韓国のような規模感で韓国製品に対する不買運動などは起きているのだろうか、気になるところであった。

・ 番組構成

参議院選挙の最中ではあるが選挙について言及された箇所が少なかった点についてはいささかの驚きを感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月9日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：ハンセン病患者訴訟、参議院選挙、安倍総理のステルス作戦、対韓輸出規制		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県で警察官振り払い男が逃走 ・ハンセン病患者訴訟 ・人手不足解消なるか「お助けロボット」 ・参議院選挙 ・安倍総理のステルス作戦 ・【速報】ジャニー喜多川さん死去 ・対韓国輸出規制 ・眞子さま南米訪問へ ・音楽教室の演奏と著作権料の裁判 ・偽サインで脚本家逮捕 ・国立科学博物館の祖先が3万年前の公海の実験航海で与那国島に到着 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#音楽著作権料 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病患者訴訟：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「家族の苦労をこれ以上長引かせない、ハンセン病患者に対する誤った隔離政策で家族も差別を受けたとして、国に損害賠償を命じた熊本地裁の判決について安倍総理は控訴を断念する方針を明らかにしました。」とのコメントを導入に以下に朱記したVTRがとりあげられていた。</p> <p>安倍総理「筆舌に尽くしがたい経験をされたご家族の皆様のご苦労をこれ以上長引かせるわけにはいきませんが、その思いのもと異例のことではありますが、控訴をしない、ことと致しました。」</p> <p>ナレ「一部には受け入れがたい点があるとしつつも、控訴を断念する方針を表明した安倍総理、根本厚生労働大臣と山下法務大臣に対応を指示したことを明らかにしました。ハンセン病元患者の家族、561人が国の隔離政策で差別を受けたとして国を訴えた裁判、熊本地裁は先月国の責任を認め、賠償を命じました。家族に対しても国の責任を認めた裁判は初めてです、総理による控訴断念の表明を受けて原告団が会見を行いました。」</p> <p>"林力（原告団団長）「正直に言って当然のことだけでもホッとしております。病人本人並びにその家族の者たちがどんな思いを強いられたか、どんな人権侵害、差別に耐えなければならなかったのか、その事を考えますと、まあ個人としては金の問題では無いと思っております。」</p> <p>徳田靖之（原告団共同代表）「ハンセン病問題に関する差別偏見を私達の国から一層していく最後の戦い、その大きな一步をこの家族訴訟の判決確定によって生み出すことができたなという思いです。」"</p>		

ナレ「今回なぜ政府は控訴の断念に至ったのでしょうか。」

ファン・グアンナム（原告団副団長）「まだ本当かな、みたいなね、ホンマにそうなんかというそういう気持ちですけれども、総理にあってですねきちんと、この控訴しなかった理由を聞きたいと思うんですね。」

ナレ「ハンセン病を巡っては元患者が起こした訴訟で 2001 年熊本地裁が国に賠償を命じました、判決後、厚労大臣や当時の小泉純一郎総理が原告と面会、控訴断念を決断しました。しかし、今回、総理や厚労大臣はこれまで原告団からの面会の要望に応じていません。政府内からは元患者だけでなく家族にまで国の責任を広く認めた先月の判決は受け入れられないとして控訴すべきとの声も出ていました。一方で控訴した場合の参院選への影響を懸念する声もありました。」

"記者「選挙期間中って言うことがあるから判断に影響を与えたのかどうかはどうお考えですか？」

萩生田光一（自民党幹事長代行）「それはないと思いますが、選挙に合わせて裁判の結果が出たわけではないと思いますから、そこは直接の影響はないと思います。」 "

ナレ「偏見と差別に苦しんできた家族たち。」

"奥晴海（原告）「私達に心からの謝罪もしてほしいし、また私達と本当にあってほしいと思います。」

原田信子さん（原告）「総理大臣と会って私達がどんな苦勞をしたかということをお話したいと思います。」 "

ナレ「原告団は今後、安倍総理による直接の謝罪や被害者全員を一律に救済する制度の創設を求めています。」

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川彩佳「以前、ハンセン病に苦しんだ方からお話を伺う機会があったんですけども、当事者よりもご家族のほうが差別被害が軽いかって言うと全くそうではない、例えば結婚や妊娠をさせてもらえない。代が変わってもずっと周りに語り継がれてきて長きに渡り苦しみが続いてきたとおっしゃっていました。まずこの決定で少しでも家族のみなさんの負ってきた傷がいていけばと願うばかりなんですけれども、その上で今回の控訴断念という安倍総理の背景には何があるのでしょうか。」

星浩「政府部内には法務省を中心に控訴すべきだっていう意見は強かったんですけども最終的に安倍総理の政治判断ということなんでしょう、まあ自民党の幹部に聞いてみると選挙中にあんまり評判が良くない控訴という選択肢はなかったという話をしてましてですね、まああの今回の件はですね誤った行政によって元患者の家族が差別に苦しんできたわけですから国が謝罪をして賠償をするのは当然のことですし、むしろ遅きに失したということだと思います、これからまあ総理の直接の謝罪とかですね、被害回復という道を早急に探る必要があると思いますね。」

小川彩佳「面会をしてお話を聞いていただきたいですね。」

このトピックに当てられた時間は 340 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・参議院選挙：結論→高く評価

小川キャスターの「では続いてのニュースになります。今月 21 日投開票の参議院議員選挙ですが、JNN の序盤の情勢分析によると自民公明の与党が改選議席の過半数を超える見込みであることがわかりました。一方でですね、憲法改正の発議に必要な三分の二を巡っては激しい攻防が続いています。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR で参議院選挙について取り上げられていた。

安倍晋三（自民党総裁）「未来に向かってしっかりと、しっかりと憲法を堂々と議論していく候補者や政党を選ぶのか、あるいは国会議員としての責任を放棄して、審議すらしないその候補者や政党を選ぶのか。」

山口那津男（公明党代表）「政治の安定がなければ、生活の安定ありません、政治の安定そのものが目的ではありません、安定させて何をやるかということが大切なんです。」

ナレ「JNNは6日と7日、全国で電話調査を実施し、選挙戦の序盤情勢を分析、改選124議席のうち自民党が54議席から66議席を獲得する他、公明党も13議席から14議席を得る見込みであることがわかりました、自民公明を合わせると、67議席から80議席となり、過半数の63議席を超える見通しです、一方日本維新の会などを加えたいわゆる改憲勢力は非改選の議席が79議席、憲法改正の発議に必要な3分の2には今回、85議席が必要です、実際に獲得が見込まれるのは71議席から90議席で三分の二に達するかは微妙な情勢です。」

枝野幸男（立憲民主党代表）「政治の流れを変えましょう、ひとりひとりの暮らしの足元に光が当たる政治を、本当に困っている人にきちっと寄り添えるそういう体制をもう一度この国に作り直してまいります。」

玉木雄一郎（国民民主党代表）「嘘をつかない、ごまかさない、正直な政治を取り戻し、そして国民の普通の国民の生活の安心を取り戻す。」

ナレ「野党は立憲民主党が現有の9議席を大きく上回る20議席を獲得する見込みですが国民民主党は現有の8議席から半減する可能性もあります。」

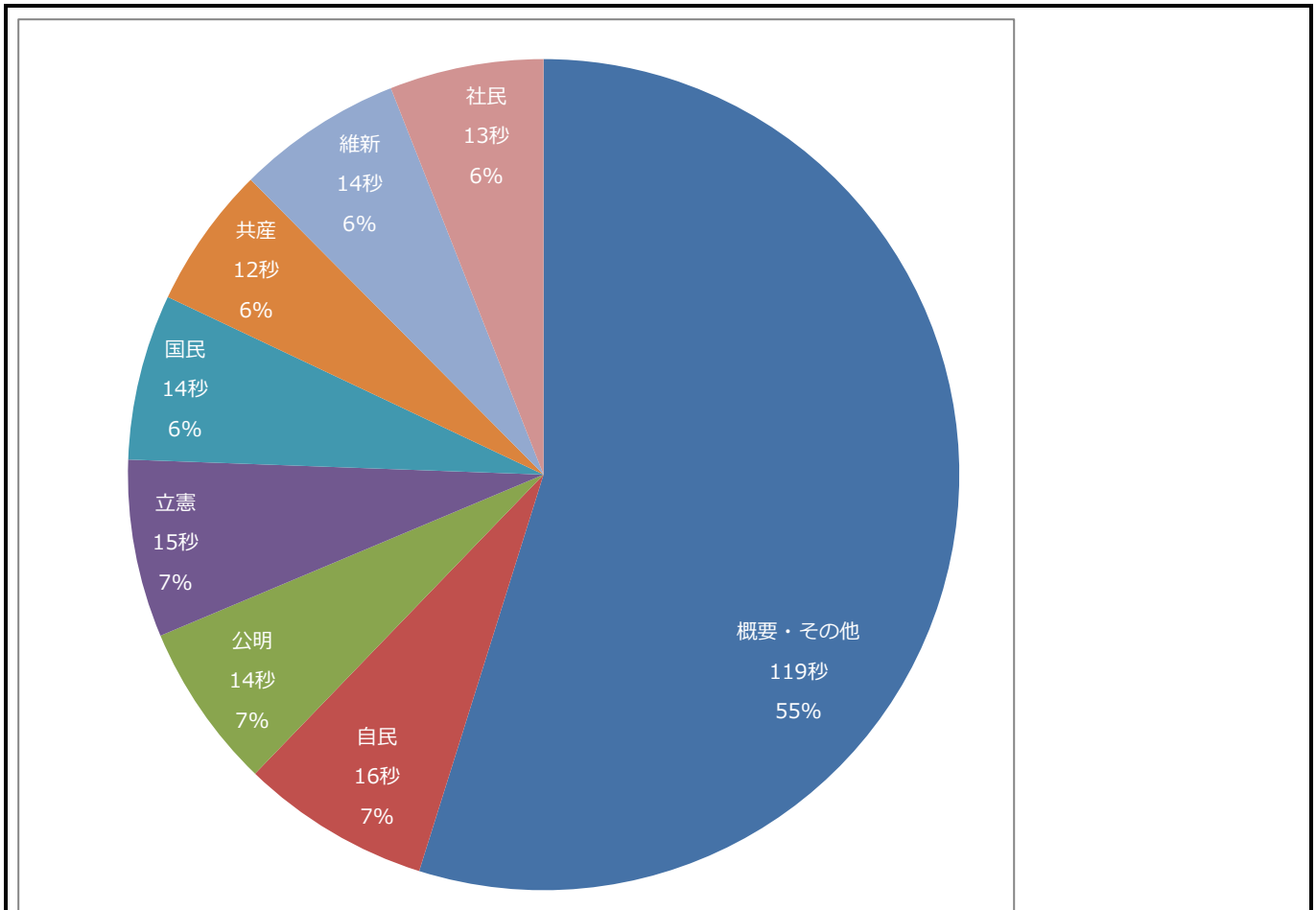
志位和夫（共産党委員長）「東北6県で全部勝ちまして32の一人区で全部野党が勝って、全部で自民党を打ち負かそうじゃありませんか。」

松井一郎（日本維新の会代表）「自民党安倍政権、民主党政権よりはそれはマシなね、この7年間、でも、皆さん、そこにはおごりや緩みやたるみもあるじゃないですか。」

福島みずほ（社民党副党首）「自民、公明、日本維新の会で3分の2以上を占めたら、安倍政権、まさにまさに、憲法改悪のは次に臨時国会踏み込むでしょう。」

ナレ「共産党と維新、社民党は現有勢力程度となる見通しです、今回の参議院選挙ではお伝えした七党の他に比例代表でご覧の党（「オリーブの木」、「幸福実現党」、「労働の解放をめざす労働者党」、「NHKから国民を守る党」、「安楽死制度を考える会」、「れいわ新選組」）が候補者を擁立しています。」

このトピックに当てられた時間は217秒で、それぞれの政党を取り上げた時間配分は以下の通りであった。



各政党を取り上げた時間は概ね均等であり、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」という点では高く評価できるものであった。

・安倍総理のステルス作戦

小川キャスターの「その選挙戦の日程ですけれども、総理の遊説の日程が公表されないということが相次いでいるんですね、ステルス作戦を取るというその背景に何があるんでしょうか。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「自民党の参院選のホームページ、総裁である安倍総理が大きく載っています。演説会情報をクリックすると、党の役員の日程が選べます、でてきたのは役員に加え、大臣の一覧、例えば菅官房長官をクリックすると演説の場所と時間がわかるようになっています、しかしどこを探しても一覧に安倍総理の顔がありません。そう、自民党は安倍総理の予定だけ掲載していないのです。」

"ナレ「その理由は。」

萩生田光一（自民党幹事長代行）「すごく残念なんですけれどもやっぱりあの、予め公表をしますとね、組織的に演説を妨害される方も中にはいらっちゃって、真面目に候補者の意見や総裁の演説を聞きたくて集まった人たちにご迷惑をかけるので。」

ナレ「萩生田幹事長代行は総理の日程が直前まで決まらないことに加え、演説を妨害する人達がいることを公表

しない理由に上げました。」 "

"ナレ「2年前の街頭演説ではこんな一幕がありました。」

野次「やめろ！やめろ！かえれ！かえれ！」

安倍総裁（2年前）「相手を誹謗中傷したって皆さん、何も生まれません、こんな人たちに皆さん、わたしたちは負ける訳にはいかない。」

ナレ「自民党は総理の演説日程を公表しない今のやり方を暫く続ける方針です。」 "

"記者「総理ご自身はその妨害されていることに関してなにか不快感を示したとか何かあったということはないのですか。」

萩生田光一「それはないですね、総理は野次があったほうが元気になる一面もあります。」 "

このトピックに当てられた時間は 141 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・対韓国輸出規制：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「日本政府による韓国への輸出規制強化をめぐる間もなく韓国が WTO への提訴の可能性も含めた懸念を表明する予定で立場の隔たりは以前大きいままです。スイス・ジュネーブで開かれている WTO 世界貿易機関の理事会で韓国政府はこのあと、今回の日本側の措置に対する懸念を表明する方針です、それに先立ち韓国のソンユンモ産業通称資源相は 12 日午後には東京で日本側との協議を行う方向で調整していると明らかにしました、韓国側はこの場で日本側が輸出規制の強化に立った経緯を確認し、これに反発する韓国政府の立場を説明したい考えです、一方で世耕大臣は輸出規制を強化する措置は協議の対象ではなく撤回も全く考えていないとして事務レベルでの説明の場に留めるものと見られます。」と伝えられていた。

このトピックに当てられた時間は 66 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月10日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：対韓国輸出規制、逃走の容疑者は元国会議員秘書、参議院選挙福井選挙区 ホルムズ海峡の有志連合、【異論反論】#日韓関係		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・対韓国輸出規制 ・逃走の容疑者は元国会議員秘書 ・ジャニー喜多川さん死去 ・参議院選挙福井選挙区 ・女子サッカーアメリカ代表が凱旋パレード ・ホルムズ海峡の有志連合 ・芸能活動虫刺された女性が都などを提訴 ・かんぽ生命が不適切販売を認め謝罪 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#日韓関係 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・対韓国輸出規制：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「最初にお伝えするニュース、輸出規制を巡って日本と韓国の対立が深まっています、こちらをご覧くださいませでしょうか、京都10日付の北朝鮮の労働新聞なんですけれども、その輸出規制の強化を巡ってこちらなんです、このようか帰れているんです。『微用工問題の賠償責任を回避しようとする安倍一味の卑劣な下心が潜んでいる』と、まあ韓国と足並みをそろえる形でこのように日本を非難し始めている、問題はいよいよ解決の糸口が見つからなくなってきました。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「笑顔で挨拶、名刺を交換、日本でもよく見る光景ですがここは韓国の大統領府、集められたのは韓国経済界のトップらそうそうたるメンバーです。ムン・ジェイン大統領が握手を交わしているのは自動車メーカーヒュンダイの首席副会長や主に半導体事業を手がけるSKの会長、サムスン電子の副会長やLG会長の姿もありました、集まった韓国の大手企業はあわせて30社、そのトップらに対しムン大統領は現状が前例のない非常事態にあると強調しました。」</p> <p>ムン大統領「日本の不当な輸出規制措置の撤回と対応策に強い覚悟で臨んでいる。前例のない非常事態であり、なにより政府と企業が常に連携し協力する官民非常対応体制を整える必要がある。」"</p> <p>ナレ「韓国の企業は日本政府が発動した輸出規制の強化によって半導体の材料を輸入しづらくなっています、韓国は半導体やスマホのシェアが高いため、深刻なダメージが懸念されているのです、韓国の中小企業を対象に行なった緊急調査によりますと、日本の措置にマイナスの影響を受けていると答えたのは59.9%、また、今の状態</p>		

が6ヶ月以上は耐えられないと応えた会社も59%に登りました。」

デモ「批判する、批判する、批判する」

ナレ「ソウルでは今日も輸出規制の強化を批判するデモが行われるなど日韓の溝は深まっています。」

ナレ「こうした中、9日、スイスのジュネーブでWTO世界貿易機関の会合が開かれ日韓の代表が激突しました。」

"ナレ「まずは韓国側の主張です。」

音声「日本は政治的な動機で貿易制限措置をとった根拠のない措置だ。」

ナレ「韓国側は日本が国際的な貿易ルールに違反しているとし、輸出規制の強化を撤回するよう要求。」

"ナレ「これに対し日本の井原大使は」

音声「今回の措置は韓国への優遇措置を通常に戻しただけ、WTOの協定違反には当たらない。」

ナレ「結局議論は平行線のまま終了」

"ナレ「日本政府は規制強化の撤回には応じない考えです。」

野上浩太郎（官房副長官）「WTOで認められている安全保障上のための輸出管理制度の適切な運用に必要な見直しでありWTO違反との指摘は全く当たらずその撤回は全く考えておりません。」

ナレ「自体の収束に向け韓国はアメリカに積極的な支援を要請、こうした中、今日あの国も声を上げました。」

"労働新聞「南朝鮮への経済圧力を強化し、過去の罪悪に対する賠償責任を回避しようとする安倍一味の卑劣な下心が潜んでいる。」

ナレ「朝鮮労働党の機関紙、労働新聞は日本政府による輸出規制強化は徴用工問題を巡る韓国への報復措置だと指摘、韓国に胴調子安倍総理を批判しました。」

ナレ「今後、貿易戦争に突入する可能性も出てきた日本と韓国、先行きが不透明な状況が続いています。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「あらためて、この日本と勧告の主張がどう対立しているのかこちらでまとめます、ポイントは2つあるんですけども、まず1つ目今回の措置をどう捉えるのか問ところですが、韓国側は今回の措置は韓国だけ、つまり韓国を狙い撃ちしていると主張してしまっていて、WTOのルールに反しているということなんですね。一方の日本側はこれは優遇措置を通常に戻しただけ、そもそも韓国には優遇措置がつけられていて、それをやめただけということを立てて表明しているわけです。そして2つ目なんですがじゃあなぜということなんですけれども日本側が規制を強化したその動機について韓国側は政治的な動機による措置だ、と。一方の日本側はこれは安全保障上の懸念に基づく見直しというふうに主張しているのですけれども、星さんこの安全保証上の懸念というのは具体的にはどういうことなのでしょう。」

"星浩「そうですね、例えば今回、規制の対象となった物質のうち一部はですね、その核兵器の製造に転用できるものもありまして、自民党の幹部などによりますと、韓国に行ったあとこの物質がどこに行ってるのかわからないものがいくつかあるというんですね、一方韓国側は懸念があるんだったらその具体的な証拠を示せ、と言ってまして、このへんは平行線ということですね。」

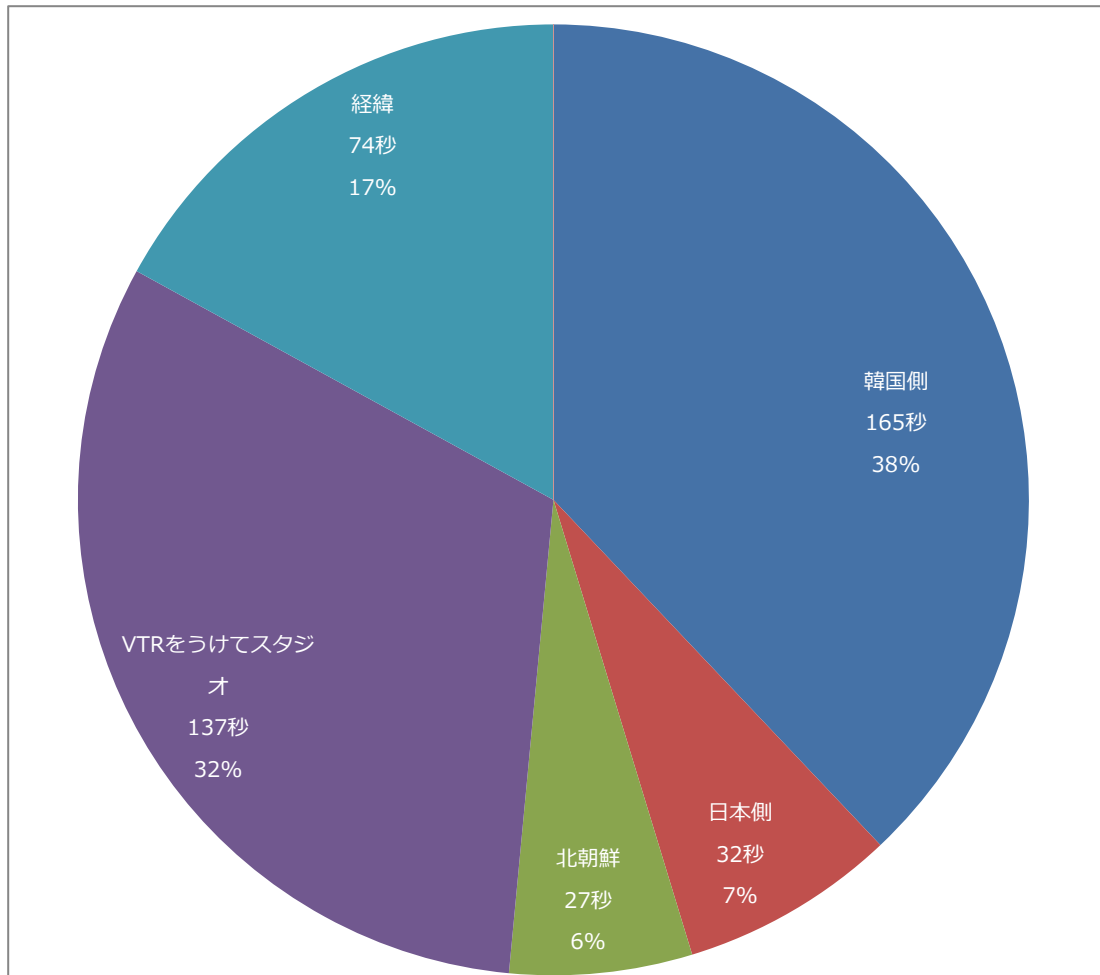
小川彩佳「更に韓国側は、これは政治的な動機による措置だというふうに主張しているわけなんですけれども、この政治的な動機というふうに主張する根拠は。」

星浩「そうですね、日本側は基本的にその通商上の問題と言っているんですけども例えば安倍総理、選挙中もですね、こんな発言をしているんですね。『韓国は国と国との約束を守らないことが明確になった、貿易管理にお

いても守れないだろうと思うのは当然（7日の発言）』、これ明らかに徴用工の問題を示唆しているわけですし、韓国が政治的と言っている点にも通じるところがあると思うんですね、ただこの問題もう少し大きい外交の問題で見るとですね中国からすればこの日本と韓国のいざこざというのはまあしめしめ、ということで、韓国を自分たちにひきつけるいいチャンスだと思うわけですね、そういう外交的な見地も必要だと思ってくると、思いますね、これからね。」

小川彩佳「どこが落とし所になってくるのか。」

このトピックに当てられた時間は 435 秒で時間配分は以下のとおりであった。



このトピックに当てられた時間は 435 秒だった。

- ・逃走の容疑者は元国会議員秘書：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてのニュースになります、逃走しているのは国会議員の元秘書でした。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「熊本市で昨日、警察官を車で引きずったうえ逃走した男は今も行方がわかっておりません、男は国会議員の元秘書で職業不詳の藤木寿人容疑者です、その後の調べで男の車は熊本からさらに北へ、福岡や佐賀でも走行していたということがわかりました。」

"中島康介（報告）「自国は午後三時過ぎです、近隣の小学校では集団下校が行われています。」

ナレ「男の行方は依然としてわかっていません。公務執行妨害と障害の疑いで全国に指名手配されている、熊本市の職業不詳、藤木寿人容疑者、事件が起きたのは昨日午前七時半ごろです。覚せい剤取締法違反の疑いで、家宅捜索のため男の自宅を訪れたところ、男は警察官六人を振り払いそのまま車で逃走。警察官六人のうち、三人が車に引きずられ軽いけがをしました、現場は熊本駅から直線で三キロほど離れた住宅街、近くには小学校などがあります。」

近所の人「子供がいるのでやっぱり不安なので早く捕まってほしいなあって。」 "

"ナレ「およそ 200 メートル離れた場所の防犯カメラには猛スピードで走る車の姿が、逃走直後の藤木容疑者の車と見られます。その後、藤木容疑者の車は国道へ。」

金田悠太郎（報告）「藤木容疑者が通ったという国道 501 号線を来ています、ご覧のように海沿いを走る道になっていまして、藤木容疑者の車はこのあと北に向かったということです。」

ナレ「これは逃走からおよそ 30 分後、国道 501 号線を走る藤木容疑者のものとみられる車です、逃走現場からは 12 キロほど離れた地点、それほどスピードは出ていないように見えます。国道を北に進み藤木容疑者の車は昨日午前、福岡県の大川市を通り、その後佐賀市に入ったことが確認されます。藤木容疑者とは何者なのか、現在は職業不詳ですが、かつては地元選出の国会議員の私設秘書を十年以上勤めていました。熊本が地盤のため地の利があったと見られています。」 "

"徳本光太郎（報告）「午後一時半です、熊本県警の捜査員が藤木容疑者の自宅に家宅捜索に入ります、」

ナレ「改めて行われた今日の家宅捜索、藤木容疑者は 2015 年にも覚醒剤使用の罪で執行猶予付きの有罪判決を受けています、今回の逃走事件、事件発生の県警発表が逃走から 1 時間半後だったことに加え、登録者にしか送信されないメールでのお知らせだったことに周辺住民からは疑問の声が上がっています。」

周辺住民「お昼のニュースで知ったので、なんか早く知らせてほしかったな、と、知らなくて朝お散歩とかかしてたので。」

ナレ「警察は 200 人体制で藤木容疑者の行方を追っています。」 "

このトピックに当てられた時間は 244 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・参議院選挙福井選挙区：高く評価

スタジオでの小川キャスターの「ニュースを続けます、続いては 11 日後に迫った参院選、そのカギを握る野党共闘の現場からです。」というコメントに山本キャスターが「今回 32 ある一人区すべてで候補者を一本化した野党五党派、その中で唯一共産党公認の統一候補が立候補しているのが、こちらの福井県なんです、果たして共闘はうまくいくのでしょうか。」と応える形での導入を受けて以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

"ナレ「今夜、福井市で行われた共産党の候補者の演説会、」

村瀬健介（報告）「いま、立憲民主党の枝野代表が応援に駆けつけました。ええ、共産党公認候補の応援、今回の野党共闘の象徴的な場面です。」

枝野幸男（立憲民主党代表）「共産党の公認候補の応援のマイクを持つことになるとは、5 年前には思っておりませんでした、どうしようかなと思ったんですが。」

ナレ「枝野氏は野党共闘の意味をこう強調しました。」

枝野幸男「党派が違うんですから、もちろん違ってることはたくさんあります、でも、今問われてるのはその違いなんですか、この間いろんな湖の国の大事なものが壊されている、その破壊をこれ以上許してはいけない。」
ナレ「今回の選挙で野党は候補者を調整し、全国で 32 ある一人区で統一候補をたてました、党にかかわらず応援しやすいように半数以上が無所属で出馬する中、福井は唯一共産党の公認に候補者になりました。」

"山田和雄（共産党候補）「消費税増税を押し付けようとする大企業減税はそのまま続けようとする、自民党が、年金の不安をまた僕たちに押し付けようとする自民党がいる。」

ナレ「山田和雄氏は消費増税や年金問題で政府を批判、野党統一候補の看板を背負う山田氏ですが、立憲民主党、国民民主党、社民党共に推薦を見送り、事実上、共産党の組織だけで選挙戦を戦っています。」 "

"インタビュアー「立憲民主党と共産党との間ではずいぶん隔たりがあると思うんですけども統一候補をたててということについても矛盾はあると思うんですけどもそこはどうですか。」

山田和雄「違うところを乗り越えて、互いに違うところを認めあって敬意を払っての共闘、今の自民党には多様性がありませんから、そうした意味でも多様性のある社会のあり方、政治のメッセージを届けられる条件になるんじゃないかな、と思います。」 "

"ナレ「一方、自民党は現職の滝波宏文氏が出馬。」

滝波宏文（自民党候補）「今、私に対抗馬で向き合っている、共産党の候補は、敦賀まで作った新幹線はそれで止めてしまえと言うています。敦賀で止めてどうする！」

ナレ「滝波氏は敦賀まで開業が決まっている北陸新幹線の新大阪までの延伸を目指していて地方経済を成長させたいとしています、地元福井出身の稲田元防衛大臣が応援に回りました。」

稲田朋美（自民党元防衛相）「北朝鮮はですね、日本を射程に入れたミサイルを数 100 発持っていて米朝会談があってもですね、全くその危険性は減じておりません、むしろその危険性は増しているんじゃないでしょうか。」

ナレ「稲田氏は自衛隊に対する野党間のスタンスの違いを批判しています。」

稲田朋美「国民民主党も。立憲民主党も、自衛隊は合憲だから憲法を改正する必要はないとおっしゃっているんですけども、自衛隊は憲法違反であると明言してる共産党とこの選挙で共闘しているんですか。これでためじゃありませんか、皆さん。」 "

"インタビュアー「共産党の公認候補を立憲民主党の代表が応援するっていうことは。」

滝波宏文候補「禁断の領域に足を踏み入れているんじゃないのかっていう気がしてます、まさに国の形についての立場がですね、やはりちょっと違うんじゃないかなというふうなことはあの、疑念として感じます。」 "

"ナレ「先週の党首討論、安倍総理もこの点を追求しました。」

安倍総理「安全保障の根本じゃないですか、それなのに、それを横においておいて統一候補っておかしいでしょ、枝野さん福井県に住んでいたら、共産党の候補者に入れるんですか。」

枝野幸男「安全保障と憲法については安保法制は違憲であるのでこれは変えるべきだということできちっと合意している。私、福井県民なら野党統一候補に投票します。」 "

ナレ「野党共闘の象徴となった福井、有権者の判断が注目されます。」

ナレ「その他、福井では諸派から嶋谷昌美氏が立候補しています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

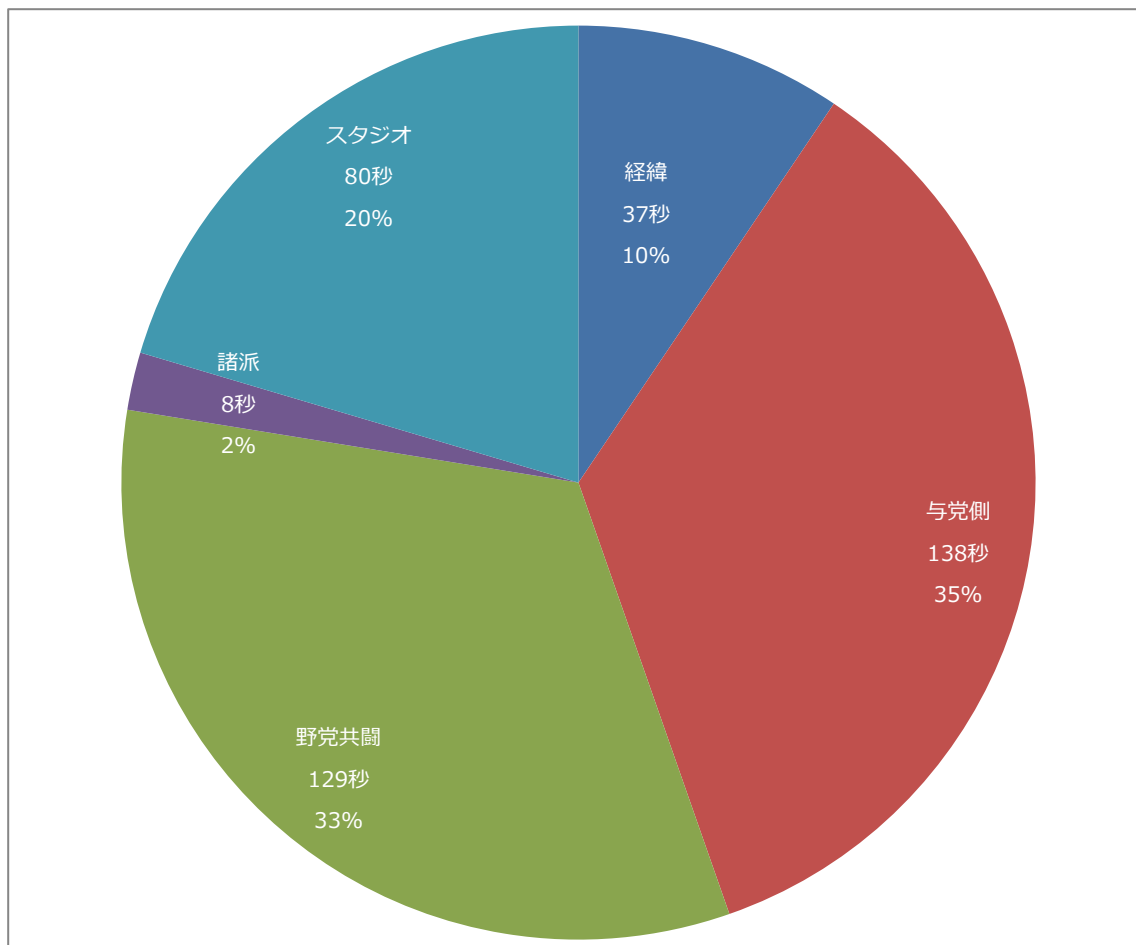
"小川彩佳「参院選ではこの一人区の攻防が勝敗を決するというふうに星さんも以前おっしゃっていましたがけれど

も、福井では共産公認候補を立憲民主党などが応援するかたち、これを自民党が批判するという形ですよね。」
 星浩「そうですね、今回の選挙は野党がどういう塊で戦うのかというのがまあ注目されたんですけども結局その見切り発車になってしまった選挙区もあるわけですね、ですから憲法とか自衛隊で立場がかなり隔たっている共産党候補を枝野さんが応援するようなことになっているわけですが、枝野さんから言わせれば消費増税とか安保法制に反対するんだという当面の問題で一致しているからいいんだ、っていうんですけど、結局自民党からつけ込まれる余地は残っていますよね。」

小川彩佳「これが有権者はどう受け止めるかというところ、一方の与党側を見ると自民、公明で隔たりがある政策もありますよね。」

星浩「実はね、自民党と公明党、よくよく見ると憲法についての意見も違いますし、夫婦別姓についても意見隔たりがありますよね、ただ自民公明は政権維持というところで非常に協力をしてそのへん違いをあんまり際立たせないようにしているということで、そういう意味では野党共闘と与党のあり方、選挙協力のあり方の成熟度が試されている選挙でもあると言えますよね。」 "

このトピックに当てられた時間は 392 秒で、時間配分は以下の通りであった。



与野党の時間配分という点では拮抗しており、その点に限って言えば放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点については高く評価できるものであった。

・ホルムズ海峡の有志連合：結論→特に問題なし

ナレーションによって「日本の会社が運行するタンカーが攻撃されるなど安全への懸念が高まっているイラン沖のホルムズ海峡、アメリカ軍制服組トップのダンフォード統合参謀本部議長が9日、ホルムズ海峡などを航行するタンカーなどの安全を確保するため有志連合の結成に向け協議を進めていることを明らかにしました。ダンフォード氏は数週間のうちに参加国を募り、具体的な役割などを話し合うとしていますが、日本も何らかの対応を求められる可能性があります。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は37秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#日韓関係：結論→特に問題なし

ナレーションの「連日お伝えしている日本による韓国への輸出規制強化をめぐる問題。溝が深まる両国関係についてあなたはどうか考えますか。異論反論。」を導入に日本の街の声が取り上げられていた。

市民A「日本人からすると納得いかないな、今の日本の措置、僕はもっと早くしてもよかったんじゃないかな、と。」

市民B「措置をとったということについては全くおかしいと思っています。」

市民C「日本の商品を買わない運動みたいなのがちょっと目立ってきて良くないな、って。」

市民D「悪化していることは知らなかった。」

韓国人A「心が痛いというか、韓国と日本、近いじゃないですか、にもかかわらず、なんか争いとかして。」

市民E「せっかくなかよくなったのにね、日本はたださ、もとに戻すだけでしょ。」

韓国人B「最近韓国と日本仲が悪いじゃないですか、僕は韓国も好きだし日本のことも同時に好きな人だから早く関係が治ればいいと思いますよ。」

韓国人C「お互いに損害ですよ、わざとなんか喧嘩する必要があるのかな。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は90秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・逃走の容疑者は元国会議員秘書：印象操作の疑いあり

ナレーションが「藤木容疑者とは何者なのか、現在は職業不詳ですが、かつては地元選出の国会議員の私設秘書を十年以上勤めていました。熊本が地盤のため地の利があったと見られています。」と藤木容疑者について取り上げていたが、「誰の」私設秘書だったのかは明らかにされていなかった。

熊本選出で国会議員の職にあった人物と言えれば何人か想起されるが、報道が誰の秘書だったかを明らかにしないことによって、藤木容疑者が誰の秘書だったかということについて、視聴者の誤解を生じさせる恐れのある報じ方であるといえる。

検証者所感

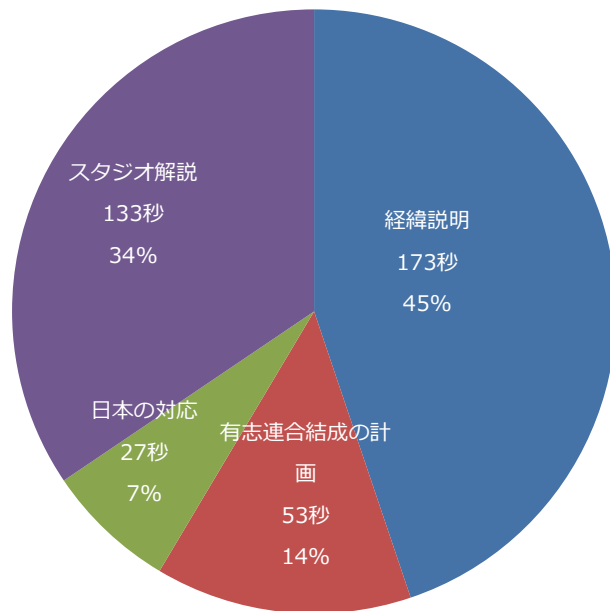
・対韓国輸出規制

スタジオで星キャスターが「日本側は基本的にその通商上の問題と言っているんですけども例えば安倍総理、選挙中もですね、こんな発言をしているんですね。『韓国は国と国との約束を守らないことが明確になった、貿易管理においても守れないだろうと思うのは当然（7日の発言）』、これ明らかに徴用工の問題を示唆しているわけですし、韓国が政治的と言っている点にも通じるところがあると思うんですね、ただこの問題もう少し大きい外交の問題で見るとですね中国からすればこの日本と韓国のいざこざというのはまあしめしめ、ということで、韓国を自分たちにひきつけるいいチャンスだと思うわけですね、そういう外交的な見地も必要だと思ってくると、思いますね、これからね。」とコメントしていたが、中国といえば最近では度々香港のデモが報じられており、自由や民主主義、法の支配を共有する先進国なのか、ということについて疑わしい中で、韓国がいくら日本との間にいざこざがあるからと言って、そう簡単に中国側に接近できるのかは、正直疑問に思えた。

それこそ、外交的な見地で考えると、韓国にとっては香港のデモの影響でこれまで以上に中国に政治的に接近するというもののリスクが増しているのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年7月11日
<p>出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕</p> <p>【ゲスト】亀田真吾（立教大学教授）</p>		
<p>検証テーマ：ホルムズ海峡情勢、眞子様ペルー訪問</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はやぶさ2世界初の快挙 ・元KAT-TUN 田口被告の初公判 ・ホルムズ海峡情勢 ・逃走事件が再発 ・セブンイレブンが沖縄に初出店 ・newstories <ul style="list-style-type: none"> ・眞子様ペルー訪問 ・メルケル首相震え ・スポーツ報道 ・#異論反論 objection 「参院選・女性候補最多」 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホルムズ海峡情勢→結論：放送法第四条第一項二号に抵触。 <p>今回は緊張が高まるアメリカとイランの対立について、ホルムズ海峡の治安を守るための有志連合結成の計画をアメリカが進めていることと、日本がその対応に迫られるだろうという報道がされた。このトピックに充てられた報道時間は379秒で、経緯説明・融資連合結成の計画・日本の対応・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「続いては日本も無関係ではられません。イラン沖ホルムズ海峡周辺で再び緊張が高まっています。」

山本「アメリカがタンカーなどの安全確保に向けて、有志連合の結成を目指すと表明しました。日本も対応を迫られる恐れがあります。」

ナレーター「10日、ウィーンで行われたIAEAの特別理事会。こちらの水を汲む女性がアメリカの代表。そしてノーネクタイで隣と談笑しているのがイランの代表です。このあと二人の間で激しい非難の応酬がありました。」

ウォルコット大使「経済制裁をやめる唯一の方法は脅しではない。」

ガリブアバディ大使「核開発は平和目的だ。アメリカは全く筋が通らない。」

ナレーター「特別理事会ではイランが核合意で決められた上限を超え、ウランの濃縮度を高めたことが報告されました。するとイランの行動をめぐってアメリカが非難。一方イランはアメリカが一方的に核合意を離脱したとして反論したのです。イラン側はその後の会見でもアメリカ批判を続けました。」

ガリブアバディ大使「アメリカは違法で一方向的な制裁を使い、主権国家が個人をねじ伏せようとしている。サディスティックなやり方を終わりにすべきだ。」

ナレーター「トランプ大統領は。」

トランプ大統領「制裁を間もなく増やす。大幅にだ！」

ナレーター「イランをめぐり緊迫する情勢。そんな中イギリス政府は今日こんな声明を出しました。」

イギリス政府「国際法に反し、イランがイギリスのタンカーの航路を妨害しようとした。」

ナレーター「先月日本の会社が運航するタンカーなどが攻撃されたホルムズ海峡でイランの船舶3隻に妨害を受けたというのです。イギリス海軍の軍艦が間に割って入りイランの船舶は引き返したといえます。一方イラン側は関与を完全に否定。」

ザリフ外相「イギリス側の主張は緊張を高めるだけで全く役に立たない。」

ナレーター「原油の9割近くを中東に依存する日本にとって、ホルムズ海峡の安定は欠かせないものです。この海域の安定のためにアメリカが検討しているのは有志連合の結成。アメリカは数週間のうちに参加国を募っています。最大の焦点は日本にも参加が求められるかどうか。」

山崎幸二統幕長「情勢について日米間で様々なやりとりをしていることは事実ですが、個別のやりとりについてはお答えを差し控えさせていただきたい。」

ナレーター「今日初来日したアメリカのスティルウェル国務次官補。」

スティルウェル国務次官補「日本の政府高官の皆さんと『自由で開かれたインド太平洋地域』構想の現状や、イランや北朝鮮情勢について意見を交わせることを楽しみにしています。」

ナレーター「明日以降、日本政府とイラン問題についても協議すると話しました。」

トランプ大統領「中国と日本は自分で船を守るべきだ。」

ナレーター「先月、こう呟いたトランプ大統領。自衛隊幹部は参加に慎重な姿勢を見せます。」

自衛隊幹部「有志連合を結成すると言ったって、これってアメリカの対イラン政策の一環でしょ。アメリカがイランに圧力を高めたいだけだろう。」

小川「ホルムズ海峡を通る船舶に関してはVTRにもあるように、トランプ大統領がツイートで自分の船は自分で守れと日本を名指しで主張するというのを繰り返していましたから、この有志連合に日本の参加を求めてくる可能性というのは高いですね。」

星「まあ、その有志連合に加われというのか、間接的な支援をするのかということからはこれからでしょうけれども、いずれにしても日本としては判断を迫られるんですけども。今のところ、これくらい、3つのオプションがあり得るところですね。まず海上警備行動。これは警察活動の延長ですので、なかなかこれによってホルムズ海峡まで日本の船が行くというのは難しいかもしれません。2番目は安保法制での後方支援なんですけれども、これは日本の存立が脅かされるときの法制ですので、果たして存立が脅かされるほどなのかという議論は当然出てきますし、3番目の経済支援だけでいいのかという、お金だけでいいのかということにもなりますので、これは非常に難しい問題ですね。さらに、有志連合といっても国連決議というのが必要なんですけれども、いまのところロシアが反対しますので、国連決議はそう簡単ではないと思いますね。」

小川「結成するとなるというところですけども。そもそもこの問題を紐解きますと、トランプ政権になってアメリカがイランとの核合意から離脱したことが発端になっているわけですね。」

星「まず最初はアメリカとイランの話し合いから始めてもらう必要があるわけですね。それを日本に急に振ってこられても困るという状況がありますよね。それから、日本はもともとイランとの関係は良いわけですから、もし有志連合に加わったりすれば、イランとの関係は切れちゃうという話でもありますよね。おそらくアメリカは早く結論を出せと言ってくるんですけども、この参院選の間はどう見ても無理ですし、安倍総理からするとトランプさんの言うことにそれなりに耳を傾けなくてはいけないけれども、法律上どうするかという問題とかイランとの関係とかもあって、そういう意味では板挟みということになってくると思います。」

小川「非常に難しい局面に立たされていると。」

今トピックでの時間配分を見ると、日本の反応が非常に割合として少なく見える。日本の報道番組として日本の対応について一番少ない割合というのはいささか心もとない。日本の対応が決まっておらず、参院選の途中と

NEWS23 週刊報告 詳細版

いう事情を鑑みても、少ないことは放送法上偏りがあると言わざるを得ない。

今トピックでは放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」に抵触していると言える。

・眞子様ペルー訪問→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今トピックでは秋篠宮眞子内親王殿下がペルーを訪問し、移民 120 周年を記念した式典に参加したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 45 秒で、経緯説明のみの内容であった。

報道の内容は以下の通り。

山本「ペルーを訪問中の眞子様が、日本人の移住 120 周年を記念する式典に出席されました。」

秋篠宮眞子内親王殿下「日系の皆様によって築かれてきた歴史が未来を担う世代にも大切に引き継がれていきますことを願っております。」

山本「式典に先立ち眞子様は 100 歳を超える日系の移民一世の方々と懇談し、いつまでもお元気でお過ごしくださいなど言葉をかけられていました。会場を後にする際、多くの子どもたちが日本とペルーの国旗を振って見送り、眞子様は笑顔で投げキッスをするなどして応じられていました。」

このトピックでは放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月12日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕 ゲスト：小黒一正（法政大学教授）</p>		
<p>検証テーマ：ハンセン病家族訴訟、対韓輸出規制を巡る事務レベル会合開催 三ツ矢憲生衆院議員(自民、三重 4)が女性候補者への応援演説で「一番の功績は子供をつくったこと」と発言 「シルバー民主主義」若者の声を届けるには</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病家族訴訟に関する総理談話が発表 ・対韓輸出規制についての事務レベル会合が開催 ・かんぽ生命不適切販売、現役職員が語る ・三ツ矢憲生衆院議員(自民、三重 4)が女性候補者への応援演説で「一番の功績は子供をつくったこと」と発言 ・指名手配中の逃走男、福岡県内で潜伏か ・潜水艦から大量の麻薬が押収 ・「シルバー民主主義」若者の声を届けるには ・スポーツ報道 ・菅官房長官ホルムズ有志連合について「適切に対応」と回答 ・故ジャニー喜多川氏の葬儀に所属タレント 150 名が参列 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病家族訴訟：結論→特に問題なし 今回の報道は、ハンセン病家族訴訟について首相談話が発表されたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 203 秒だった。 なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。 ・対韓輸出規制を巡る事務レベル会合開催：結論→特に問題なし 今回の報道は、韓国に対する輸出規制について両国間で事務レベルの会合が開催されたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 335 秒だった。 なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった ・三ツ矢憲生衆院議員(自民、三重 4)が女性候補者への応援演説で「一番の功績は子供をつくったこと」と発言：結論→問題あり このトピックに当てられた時間は 35 秒で、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。 三ツ矢憲生（自民党衆院議員）「一番大きな功績はですね、子供を作ったこと、ね。もちろん人口が増えるっていうのもありますが、」 		

ナレ「自民党の三ツ矢憲生衆院議員が自民党公認の現職候補者の応援演説で一番大きな功績は子供を作ったことなどと発言しました。」

VTR では三ツ矢議員の「もちろん人口が増えるっていうのもありますが」というところで音声がか切れており、「が」の後に続く言葉がカットされていた。

この「が」は「しかし」と同じように逆接の働きをしており、その後に続く言葉に三ツ矢議員が「一番大きな功績は子供を作ったこと」と評する本当の理由が述べられているはずであり、そこをカットして取り上げないというのは放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点に照らすと問題のある取り上げ方と言える。

・「シルバー民主主義」若者の声を届けるには：結論→特に問題なし

小川キャスターの「参院選の投開票まであと一週間あまりということになりましたけれども、こここのところですね高齢者の意見が政治に反映されやすいということでシルバー民主主義という言葉が広がっているのは皆さんご存知でしょうか、それでは若者の声を政治に反映させるには、どうしたらいいのか、今夜は皆さん一緒に頭のパズル、してみませんか。」というコメントで導入がされ、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「東京は朝から雨、それでもわかものたちは集まりました。」

大学生 A「選挙は毎回行くんですけども、まだやっぱり自分の投票と政治の距離が遠いというか、自分の行動が政治にどう関わっていくのかっていう実感がなくて。」

会社員 B「ちゃんとこう、何が良くて、どの政党が何のためにやっているのかというのもイマイチ把握しないまま選挙に行っていたこともあったので。」

ナレ「選挙や政治を通して、これからの社会のあり方について考えるトークイベント、なぜ若者は投票に行かないのか、どうすればいくのか会話しました。」

"社会起業家 C「投票に行くっていうのが、場所に行くのが面倒くさいんですね。」

参加者 D「気持ちの問題という感じが」

主婦 E「家族が増えたりとか本当に明日の生活が変わるとなれば結構ちゃんと読む s、その人に自分の生活をかけるような思いで自分の一票を使いたいって思うようになるんですけども。」

ナレ「少子高齢化が進む日本、今や有権者のおよそ 4 割が 60 歳以上です、さらに投票率でも 60 代がおよそ 72% と 20 代の倍以上となっています、このため各政党は選挙で影響力の強い高齢世代に配慮した政策を掲げる傾向が高まることがありシルバー民主主義とよばれています。」

"会社員 (27)「若い人が選挙に出ることがない限り変わらないんじゃないかなって思いますけれども。」

大学生 (22)「投票しない私達も悪いけれども、ちゃんと若者向けの政策も考えてほしいなって気持ちもなくなってる、」

大学生 (23)「強制的になんか活かせるような仕組みがあったらいいんじゃないかな、っていうのは思ってます、行かないともう罰金みたいな感じで。」

ナレ「若者の声を動静時に反映させるか、この後、スタジオで考えます。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「一緒に考えてみましょうということここからは世代間問題について研究していらっしやいます法政

大学の黒一正さんにお話しを伺いしてまいります、よろしくお願いいたします。」

黒一正（法政大学教授）「よろしくお願いいたします。」

小川彩佳「黒さん、VTRでもご紹介しましたがけれどもシルバー民主主義ですけれども少子高齢化が進む中、こうした問題が起きているこれをどういうふうに受け止めておりますか。」

"黒一正「まあ政治は基本的に多数決で決まるもので、今後ですね2050年になると75歳以上の高齢者がだいたい2500万人くらい、人口は大体1億人くらいですので4人に1人が75歳以上、で他方で若い世代はですね、少子化でどんどん減っていきますから、まあ政治の意思決定の中で不利になっていくというのは仕方がないような状況だということですね。」

小川彩佳「うーん、これはもちろん長寿がダメだとか、高齢者の意見が反映されるのがダメだとかそういうことではないですね。」

黒一正「そういうことではない。はい。」

小川彩佳「ということで興味深い」

山本恵里伽「そうした中、あの参院選の投票票迫っているわけですがけれども投票に行かないと決めている方もこちらの数字をちょっと見ていただきたいんですね、各世代が生涯を通じて年金や医療といった政府から得られるサービス、生涯受益から税金や保険料を通して支払う生涯負担を差し引いた金額を示したグラフなんです。高齢者はこちらプラスになっているのに対して、私達や小川さんの世代というのはマイナスになっているのがわかりますよね、さらにはこれからの世代、将来世代というのはここまで負担が広がっていってしまう、単純計算でも1億円くらいの差が出てきていしまうということなんです、この世代格差、どうして生まれてしまうのでしょうか。」

黒一正「まあ一つは社会保障で特に年金は今の高齢者の方々はそれなりにもらえますけれどもだんだん支え手が減りますから、年金の金額も少なくなってくことで受益と負担の格差が発生するというのが一つあります、後もう一つは今1000兆円くらいの政府の債務、毎年その赤字が発生している分を将来世代、若い世代に先奥尻していると、こういった現状があるわけです、これは非常にひどい状態ですのでこういった世代ごとの受益と負担を明らかにするものを世代会計というのですけれども、この世代会計を開発したボストン大学のですねコトロフ教授はこういった状態を財政的幼児虐待というふうに呼んでいます。」

"小川彩佳「ああ、大幅にツケが回っているわけですね。」

星浩「若い人に財政的な負担を強いている、ということですね。」

小川彩佳「これはあくまでも平均ということでももちろん高齢の方の中に貧困の方もいらっしゃるわけですがけれども、それはまた別の問題として考えなければならないわけですがけれども、若い方たち、そして将来世代にとってはこれは非常に深刻な問題ということで、ではどうすればいいのか、これは例えば選挙のあり方を変えてみてはいかがでしょうか、ということでここからは黒さんが考えていらっしゃる3つのアイデアをご紹介します。」

"小川彩佳「このこちらに出していただくんですけど、まず1つ目は。」

黒一正「世代別選挙区性というものです、今はですね地域別に小選挙区みたいなのを作ってそこで政党ごとに戦っていただく、で一人の方が議員として最初に当選するという形になるんですけど、ここにある図はですね、議席数が450の場合、にですね、選挙区を大きく3つに分けると、一つは30代以下の青年区、それからそ

の 40 代から 50 代の中年区、それから 60 代の方々の代表を作る、まあ議員の方がそこで当選される老年区、というようなものに分ける、で各選挙区に議員の候補になりたいもしくは議員になりたい方が立候補する、で当選する、で議席数の割当をどういうふうにするかと言うと、各その 30 代よりも下の方々、40 代 50 代、と有権者のボリュームで割り振ると言うことで議席数は例えばその青年区は 100、で中年区は 150、老年区は 200 というような形で、まあ選挙が行われる。」

小川彩佳「有権者の中の世代間の割合がそっくりそのまま議席に反映されるということに。」

小黒一正「まあ世代の代表が国会に行っても色々議論をするというような場になる。」

小川彩佳「なるほど、これが一つ目の世代別選挙区制ですけれども。」

"小川彩佳「2 つ目参りましょう、こちら、ドメイン投票法ということですが、これは小黒さん、

小黒一正「これはですね、日本も最近あの 20 歳まで、からですね選挙権、今度はですね 2016 年に 18 歳からに変わりましたが、でも、ですけれども 18 歳以下の方々は選挙権を持っていないんです、でアメリカのピーター・ドメインという人口学者、先生が、そういうようなまだ選挙権を持っていない子供の方々にも投票権を上げたらどうか、という仕組みを考えまして、それがドメイン投票法と呼ばれるものになります。で、どういうふうにするかと言うと、これ真ん中のところを見ていただくと、青いのがふたつ、両親なんですね。で、一人の子供がいる場合はそこに一票与えられるんですけど、この場合、その両親二人いますので一人は 0.5 票、投票がもらえる、子供が小さい場合は投票できませんから、代わりに親が投票して 1.5 票投票できるという仕組みになるんですね。」

小川彩佳「子供の分も反映されるということになるわけですね。」

"小川彩佳「そして 3 つ目なんです、これ余命投票方式ということで平均寿命ということで平均寿命が 80 歳とした場合、その余命に応じて投票のボリュームが変わると、これ結構刺激的ですよ。」

小黒一正「これは寿命が 80 歳の場合ですけれどもここにある 30 歳の方っていうのは残りの余命が 50 年ありますので、まあ 50 票投票できる。それから 70 歳の方は余命が 80 歳の場合は 10 年ありますので 10 票投票できる、と、これあの一見その一人一票持つという原則に反するんですけど、自分が投票券を持ってからその余命までですね、投票の総数を考えると、まあ平均寿命まで生きるって方は、皆さん同じ投票数持つということで障害を通じれば投票の総数に格差はないだろう、とそ言う言う仕組みなんです。」

星浩「あのおそらく現実には憲法の規定とか既成政党の反対でなかなか実現はしにくいでしょうけれども、この若い人に是非投票に行ってもらいたいという問題提起には十分なり得ると思いますよね。」

小川彩佳「選挙制度改革というところも含めて投票行動に生かしていただきたいとみんなどうお考えでしょうか、小黒先生にお話を伺いましてどうもありがとうございました。」

このトピックに当てられた時間は 622 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし